

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2007-236987(P2007-236987A)

【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2007-168941(P2007-168941)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作にもとづいて遊技を行うとともに、特定遊技状態とするための条件が成立した場合に遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能であり、特別遊技状態とするための条件が成立したら前記特定遊技状態になりやすい特別遊技状態に制御可能な遊技機であって

、  
遊技機への電力供給が停止しても所定期間は記憶内容を保持することが可能な変動データ記憶手段と、

所定電位の電源を監視し、電圧の低下を検出したことにもとづいて電圧低下信号を出力する電源監視手段と、

前記電圧低下信号が出力されたことにもとづいて、バックアップフラグを前記変動データ記憶手段に設定する処理と前記変動データ記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いられるチェックデータを作成して該変動データ記憶手段に記憶する処理とを含む電力供給停止時処理時処理を行う電力供給停止時処理実行手段と、

前記特定遊技状態とするか否かを決定するための特定遊技状態決定用カウンタと、

所定の数値範囲内で前記特定遊技状態決定用カウンタの値を更新する特定遊技状態決定用カウンタ更新手段と、

所定のタイミングで前記特定遊技状態決定用カウンタの更新の初期値を変更する特定遊技状態決定用カウンタ変更手段と、

前記特別遊技状態とするか否かを決定するための特別遊技状態決定用カウンタと、

前記特別遊技状態決定用カウンタの値を、あらかじめ決められている数値範囲内で更新する特別遊技状態決定用カウンタ更新手段と、

所定のタイミングで前記特別遊技状態決定用カウンタの更新の初期値を変更する特別遊技状態決定用カウンタ変更手段と、

前記特定遊技状態決定用カウンタおよび前記特別遊技状態決定用カウンタの値は、前記変動データ記憶手段に記憶され、

遊技機に対して電力供給が開始されたときに、前記バックアップフラグが前記変動データ記憶手段に設定されているか否かを判定するとともに前記変動データ記憶手段に保持されていた前記チェックデータにもとづいて該変動データ記憶手段に保持されていた記憶内

容が正常であるか否かを判定し、前記バックアップフラグが前記変動データ記憶手段に設定されていると判定し、かつ前記チェックデータにもとづいて前記変動データ記憶手段の記憶内容が正常であると判定したことを条件に、遊技状態を電力供給が停止したときの状態に復旧させる復旧手段とを備え、

前記復旧手段は、前記変動データ記憶手段に保存されていた前記特定遊技状態決定用カウンタおよび前記特別遊技状態決定用カウンタの値から、前記特定遊技状態決定用カウンタおよび前記特別遊技状態決定用カウンタの更新を継続させる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明による遊技機は、遊技者の操作にもとづいて遊技を行うとともに、特定遊技状態とするための条件が成立した場合に遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能であり、特別遊技状態とするための条件が成立したら特定遊技状態になりやすい特別遊技状態に制御可能な遊技機であって、遊技機への電力供給が停止しても所定期間は記憶内容を保持することが可能な変動データ記憶手段と、所定電位の電源を監視し、電圧の低下を検出したことにもとづいて電圧低下信号を出力する電源監視手段と、電圧低下信号が出力されたことにもとづいて、バックアップフラグを変動データ記憶手段に設定する処理と変動データ記憶手段の記憶内容が正常か否かの判定に用いられるチェックデータを作成して変動データ記憶手段に記憶する処理とを含む電力供給停止時処理時処理を行う電力供給停止時処理実行手段と、特定遊技状態とするか否かを決定するための特定遊技状態決定用カウンタと、所定の数値範囲内で特定遊技状態決定用カウンタの値を更新する特定遊技状態決定用カウンタ更新手段と、所定のタイミングで特定遊技状態決定用カウンタの更新の初期値を変更する特定遊技状態決定用カウンタ変更手段と、特別遊技状態とするか否かを決定するための特別遊技状態決定用カウンタと、特別遊技状態決定用カウンタの値を、あらかじめ決められている数値範囲内で更新する特別遊技状態決定用カウンタ更新手段と、所定のタイミングで特別遊技状態決定用カウンタの更新の初期値を変更する特別遊技状態決定用カウンタ変更手段と、特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの値は、変動データ記憶手段に記憶され、遊技機に対して電力供給が開始されたときに、バックアップフラグが変動データ記憶手段に設定されているか否かを判定するとともに変動データ記憶手段に保持されていたチェックデータにもとづいて該変動データ記憶手段に保持されていた記憶内容が正常であるか否かを判定し、バックアップフラグが変動データ記憶手段に設定されていると判定し、かつチェックデータにもとづいて変動データ記憶手段の記憶内容が正常であると判定したことを条件に、遊技状態を電力供給が停止したときの状態に復旧させる復旧手段とを備え、復旧手段は、変動データ記憶手段に保存されていた特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの値から、特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの更新を継続させることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項1記載の発明では、遊技機が、遊技機に対して電力供給が開始されたときに、変動データ記憶手段に保存されていた特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの値から、特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの更新を継続させるように構成されているので、所定の起動タイミングに同期して遊技制御

手段から出力される各種信号を観測しても、特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの値が判定値と一致するタイミングを推測することはできなくなり、その結果、外部から特定遊技状態および特別遊技状態を不正に発生させるための信号を与えることができなくなって不正遊技行為を効果的に防止でき、さらに、電源断等からの復旧時に特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの値は電源断時の値から継続してカウントアップが再開されるのに対して、仮に、遊技機に不正基板が接続されたとしても、不正基板上の回路動作が電源断時の状態から継続するということは考えられず、不測の電源断等からの復旧時に、不正基板等を用いて特定遊技状態決定用カウンタおよび特別遊技状態決定用カウンタの値が判定値と一致するタイミングを予測することがより困難になる。